2026 年春の花壇デザイン案

2026 年 10 月 25 日 ChatGPT 作成

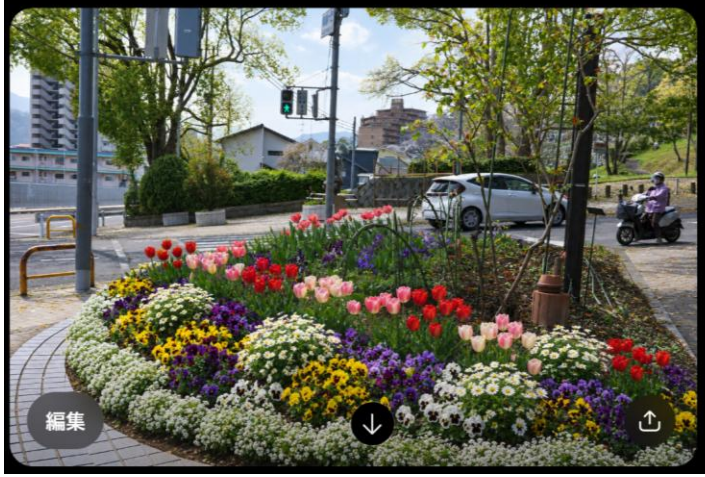
植え付け数量の確認

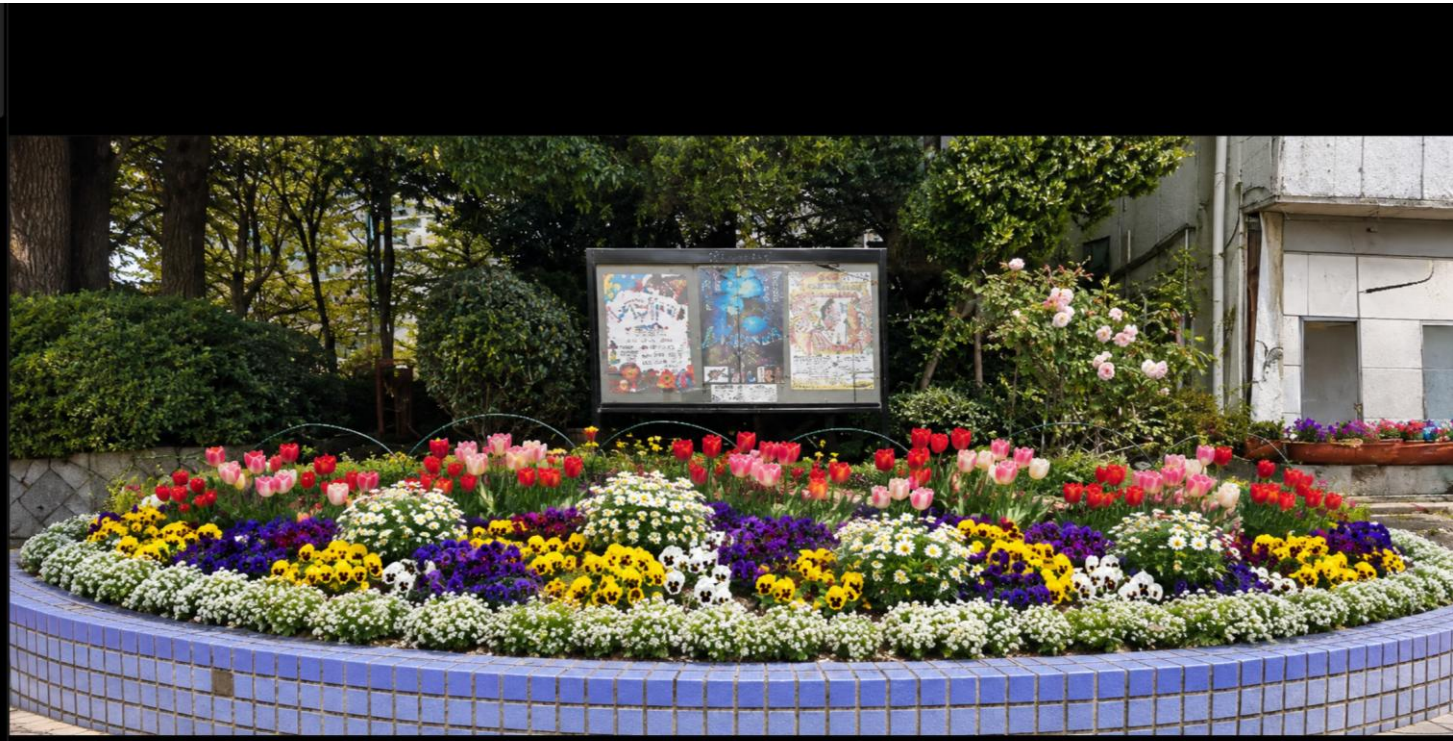
花の種類	数量
パンジー	160 ポット
ノースポール	40 ポット
アリッサム	40 ポット
赤いチューリップ	50 球
イチゴブレンドのチューリップ	50 球

花壇面積21.5㎡で、前面の縁は巾7.4m奥行.1.8mの曲線、その後ろは奥行き1.6mの長方形でその部分の一部には看板がありバラと宿根草が植わっています。

貴望ヶ丘交差点

ふれあい花壇





※2026 年春からの　後方追加分は別に右の通り

ノースポール	40 ポット
アリッサム	40 ポット

1. 植え付けの配置計画

			
① チューリップ：合計 100 球 赤色 50 球：花壇の中央から後方に、まとまりのある群植にする。 イチゴブレンド 60 球：赤・ピンク・白系の色の流れをつくり、赤色の群植と交互に配置する。 1 球ずつ均等に並べず、5～10 球程度の小さな集団に分けると自然です。	② パンジー：160 ポット 花壇前面から中央にかけて、黄色・紫・白を主体に帯状に植えます。写真のような曲線に沿って色をつなぐと、花壇全体に一体感が生まれます。	② ノースポール：40 ポット 白い花をチューリップの周囲やパンジーの色の切り替わり部分にまとめて配置。赤や紫の花を引き立てます	④ アリッサム：40 ポット 歩道に沿った曲線の縁取りに使います。白い小花が連なることで、花壇の輪郭がきれいに見えます。

2. 植え付けで大切にしたいこと

- 前面の曲線部分：アリッサムを縁取りにし、その内側にパンジーとノースポールを配置。
- チューリップの位置：パンジーの中から花が立ち上がるように、中央～後方に群植。
- 既存の長方形部分：バラ・宿根草・看板をそのまま残し、新しい花との境目を自然につなぐ。
- 樹木や支柱の周辺：作業や生育のための空間を確保し、無理に花で埋めない。

この配置は、花壇面積 21.5 ㎡のうち、既存の長方形部分を除いた場所に植える想定です。実際の植え付けでは、曲線部分の面積や既存植物の位置に合わせて株間を調整します。

おすすめは、白いアリッサムで曲線を描き、黄色と紫のパンジーを主役に、赤とピンク系のチューリップを後方から立ち上げるデザインです。

春らしい華やかさと、歩道からの見やすさを両立できます。